

2023年10月

# 『舞台』

～『人間失格 / 太宰治』のオマージュ～

西 加奈子

西加奈子さんは、『サラバ！（2014年）』で直木賞を受賞した作家です。『きいろいゾウ』が、宮崎あおい、向井理の出演で映画化（2013年公開）され、とても話題になりました。

また、直木賞受賞会見の席では、「プロレスから勇気もらった」と語るほどの大のプロレスファンとして知られています。

西さんの作品は、身近なテーマを明るく軽快なタッチで描かれています。その中でも闇と切なさのようなものを感じる作品が多いように思います。また、登場人物も個性的です。

今回のオススメ本、『舞台』は、主人公の29歳の青年、葉太がニューヨークを旅する話です。しかし、すぐに盗難にあってしまい、お金も携帯を失い、おまけに英語もできないという境地に陥ります。葉太は、必死になって未知なるニューヨークで生き抜こうとします。そうして、徐々に失いかけていた自分を取り戻していく物語です。

『舞台』は、『人間失格 / 太宰治』をオマージュして書かれた作品といわれています。主人公の自己防衛としての行動や考え方に共感してしまうのは私だけではないと思います。

秋の夜長、自分と対峙しながら、主人公に寄り添いたくなる1冊です。

